

ご あ い さ つ

北海道高等学校教育研究会
会長 林 恵子

盛夏の候となりました。コロナ禍における2度目の夏となり、北海道高等学校教育研究会の皆様は、それぞれのお立場でこの困難な状況へのご対応にご苦労されていることと思います。

昨年度は、本研究会「高教研」の60年近い歴史において、初めて研究大会（全体集会・教科別集会）を中止といたしました。年度当初から全く先行きが見通せない中での会員登録でしたが、最終的には1929名の皆様に登録をいただきました。研究大会は実施できませんでしたが、皆様のご理解とご協力により何とか今年の運営につなげることができましたことに、心より感謝申し上げます。

この度のコロナ禍では、長期にわたる休校や教育活動の制限により、私たち教職員だけでなく、世間の多くの人々が、「学校」の果たす役割や、そこに子どもたちが集って育ちあうことの意義を改めて感じました。同じように、私たちは、高教研の役割や意義についても、再確認できたように思います。高教研事業は、広域分散型の本道の高等学校の先生方にとって、横のつながりを作り互いに学びあう大切な研修の機会であり、未来の生徒や先生方のためにも、今後も事業を存続させていきたいこと、また、先生方が互いに顔を合わせて情報交換や研究協議を行うことは非常に重要であり、可能な限り実際に集まって実施したいこと、しかしそれが難しい場合には、オンライン開催なども検討して、なんとか可能な方法で開催したいこと、などを、事務局で整理し、今年度の実施方針として総会で確認しました。これを受けて、今年度は「中止」にはせず、可能であれば対面で、それが困難ならリモートで、「実施」する方向で準備を進めております。万一リモート開催になる場合も、参加申し込み前の10月末までには判断し、会員の皆様にはそれを踏まえて参加申し込みをしていただけるようにしたいと思います。また、研究紀要58号も、昨年度末にひとまずWEB上で発行し、印刷発行は今年度の59号と合冊で行う予定です。未曾有の経験に翻弄されながらも、諦めずの一つ一つ課題を検討し、現状でできることをやっていくことで、この危機を乗り越えていきたいと考えます。

今年度の第59回大会の全体会では、中止となった第58回大会で予定されていた安田登氏にご講演いただきます。講演のタイトルは、仮ではありますが、「未来へつながるリベラルアーツ—Society5.0時代の古典の価値」という、大変興味深いものです。安田氏は、能楽師として活躍される傍ら、論語、史記、平家物語、奥の細道など中国や日本の古典について独自の切り口で論じる著書も多く、舞台芸術、ボディワークなどにも深い造詣をお持ちです。また、コロナで舞台ができなかった時期には、ネットでプログラミングを学びVR空間の作成も手掛けられたとのこと。古代から未来まで、フィジカルからデジタルまでを俯瞰しつつ、教育の未来へ向けた、教科の枠を超えたものの見方考え方について、貴重なヒントが得られるお話になるのではないかと期待しております。

この一年半は、近隣地域の先生方同士が集まって学び合う機会が減り、一方では時代のニーズへの対応やコロナ下での学習支援など新しい課題も出てきています。多くの先生方にぜひ高教研のような研修の機会を活用していただきたいと存じます。皆様のご参加をお待ちしています。

令和3年度 総会報告

本年度の総会・第1回研究協議会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対応として、Zoomで実施しました。審議の結果、令和2年度事業の実施報告・令和3年度事業計画、役員の変更についての事務局提案が承認されました。以下、その概要をお知らせします。

(1) 令和3年度 事業実施報告

ア 会報 第113号発行（令和2年7月）

イ 研究紀要 第58号発行（令和3年3月31日）ホームページ上に掲載

(2) 令和3年度 事業計画

ア 第59回北海道高等学校教育研究大会

① 全体集会

期 日 令和4年1月12日（水）

会 場 カナモトホール（札幌市民ホール）

研究主題 北海道の新たな時代を拓く高等学校教育の創造

日 程

9:00	12:00	13:00	13:40	15:40
	準備	受付	開会式	講演

運 営 大会役員

講 演

講 師 能楽師（ワキ方、下掛宝生流）

米国 RolfInstitute 公認ロルフアー

（米国のボディワーク、ロルフィングの専門家）

関西大学特任教授

安田 登 氏

演 題 「未来へつながるリベラルアーツ - Society5.0時代の古典の価値」（仮）

司会者 十勝支部

■全体講演講師 安田 登 氏 プロフィール

1956年千葉県銚子市生まれ。高校時代に甲骨文字と中国古代哲学への関心に目覚める。高校教師時代に能と出会う。27歳でワキ方の重鎮、鏑木岑男師に入門。現在は能楽師として国内外で活躍するかたわら、能のメソッドを使った舞台作品の創作、演出、出演を手がけている。また、独自の切口で『論語』などを学ぶ寺子屋「遊学塾」を、東京（広尾）を中心に全国各地で開催する。日本と中国の古典の“身体性”を読み直す試みにも継続して取り組んでいる。

Eテレ（NHK）100分 de 名著『平家物語』講師。代表作として『間（平城遷都1300年記念グランドフォーラム。金梅子氏により韓国にも招聘）』、『水の夢（御茶ノ水 WATERRAS のこけら落とし公演）』、『天守物語（金沢21世紀美術館）』、『芸能開闢古事記（島根県委嘱）』、『おくのほそ道幻想』、『イザナギの冥界下り』、『オルフェオの冥界下り』、『結婚（ストラヴィンスキー）』、『イナンナの冥界下り』、など（以上、山のシュレー）などがある。

著書に『能650年続いた仕掛けとは』（新潮新書）、『あわいの時代の『論語』：ヒューマン2.0』（春秋社）、『身体感覚で『論語』を読み直す』（新潮社）、『すごい論語』（ミシマ社）、『別冊NHK100分 de 名著 読書の学校 安田登 特別授業『史記』』（NHK出版）、内田樹氏との共著『変調「日本の古典」講義』（祥伝社）など多数。

② 教科別集会

期 日 令和4年1月13日（木）

会場・テーマ 教科部会ごとに決定

日 程（概要）

9:00	12:00	13:00	15:00	15:30
受付	講演又は 研究協議	昼食 (休憩)	講演又は 研究協議	部会 ・総会

※ 部会により時程は多少異なります。

講 師 各教科部会で決定（委嘱状・依頼状については、教科部会事務局で発送）

令和3年度北海道高等学校教育研究会 教科別テーマ・会場

部 会	会 場	研 究 テ ー マ
国 語	未定	主体的・対話的で深い学びの探究 新たな時代の国語教育
地歴・公民	かでの2・7 またはオンライン開催を検討	広い視野に立ち、主体的に生きる資質・能力を育む学習指導の工夫・改善
数 学	札幌市教育文化会館 小ホール	数学的活動を充実させ、数学的に考える資質・能力を育成する数学教育
理 科	北海道札幌月寒高等学校	自然科学の見方・考え方を育成するための理科教育 科学的に探究する力を育む指導法の研究・実践 自然の事物・現象に主体的に関わらせる実験・観察の研究・実践
保健体育	かでの2・7	I C Tを活用した保健体育授業
養 護	札幌市教育文化会館	現代的な健康課題の解決と学校保健活動の推進をめざして
芸 術	未定	豊かな心や創造性を涵養する芸術教育
英 語	札幌大学	21世紀に生きる地球市民をはぐくむ英語教育 English Education in the 21st Century : Fostering Global Citizenship 新しい流れに対応する授業を目指して In Pursuit of New Wave of English Teaching
家 庭	未定（候補 札幌エルプラザ）	生涯を見通してよりよい生活を創造する力を育む家庭科教育
農 業	ホテルライフオート札幌	国際化と情報化に対応した農業教育の推進 ～地域農業と融合を図った学校農場づくり～
工 業	北海道札幌琴似工業高等学校	社会の発展に貢献する工業教育の創造と実践
商 業	市立札幌大通高等学校	未来を拓く有為な人材を育成するビジネス教育
水 産	北海道小樽水産高等学校	変化の激しい時代を切り拓く水産・海洋教育はいかにあるべきか
情 報	北海道札幌北高等学校	変化を乗り越えて、一歩前に進もう！ Let's Begin Anyway！

◎ 参加料 会員 2,000円 非会員 3,500円 一般 1,000円（全体集会）1,500円（教科別集会）

高等学校教員は全体集会のみ、教科別集会のみ参加でも参加料は同じです。

また、当日参加も参加料は同じです。

イ 研究紀要 第59号（第58号と合冊）発行

発行 令和3年3月

ウ 会 報 第115号、第116号 発行

① 第115号 発行：令和3年7月 内容：令和3年度総会報告

② 第116号 発行：令和4年3月 内容：第59回研究大会報告及び第59回研究大会の概要について

研究紀要執筆者募集要項

教科での研究紀要は各教科部会へ、教育一般は各地区支部へ申し出て下さい。たくさんのご応募をお待ちしています。なお執筆者は本研究会の会員に限ります。

① 原稿募集の種類

(ア) 教科は、1教科につき 10ページ以内〔横書き 横24文字2段組み1,000行〕

(原稿の集約・審査は各教科部会長の担当です)

(イ) 教育一般は、1編につき 10ページ以内〔横書き 横24文字2段組み1,000行〕

(原稿の集約・審査は各地区支部長の担当です)

② 日 程

執筆申込締切日 教科部会・地区支部まで 8月26日（木）

執筆者本部決定 9月10日（金） 原稿提出締切 11月5日（金）

全体講演の歩み
～ 第30回大会以降 ～

回	開催年度	講師氏名	演題
30	平 4	伊東 光晴 (放送大学教授 京都大学名誉教授) 古葉 竹識 (野球評論家)	技術革新の現在と社会の変容 耐えて勝つ
31	平 5	C.W.ニコル (作家) 若井 邦夫 (北海道大学教育学部教授)	自然と人間 子どもが発達するとき -必要とあそびのあいだ-
32	平 6	中村雄二郎 (明治大学法学部教授) 杉岡 昭子 (札幌国際プラザ専務理事)	共通感覚と自己表現 「故郷忘れがたく候」の旅
33	平 7	河合 雅雄 (京都大学名誉教授/日本福祉大学教授) 山中 燐子 (北海学園大学人文学部教授)	人間 -進化の道からずれた動物 世界の中の日本と日本人
34	平 8	佐原 真 (国立歴史民俗博物館副館長) 横湯 園子 (北海道大学教育学部教授)	大むかしと現代 子どもを観る目 -教育臨床心理の立場から-
35	平 9	浅井 信雄 (神戸市外国語大学教授) 中野 武房 (北海学園北見大学教授)	国際化と私たちの暮らし カウンセリングを体験してみませんか
36	平 10	梶田 叡一 (ノートルダム女子大学学長) シンポジウム	変革期の高校教育を考える 「今こどもの心は」 -問題行動の背景を探る-
37	平 11	養老 孟司 (北里大学教授)	からだと脳
38	平 12	河合 隼雄 (京都大学名誉教授)	青春の夢
39	平 13	阿部 謹也 (共立女子大学学長)	日本社会の構造と教育
40	平 14	五木 寛之 (作家)	日本人のこころ
41	平 15	毛利 衛 (宇宙飛行士/日本科学未来館館長)	宇宙の視点からの教育
42	平 16	寺島 実郎 (三井物産戦略研究所所長 /日本総合研究所所長)	世界潮流と日本および北海道の進路
43	平 17	吉村 作治 (早稲田大学国際教養学部教授)	夢の実現の仕方
44	平 18	桜井 進 (河合塾、早稲田塾、数学講師 /sakurAi Science Factory 主催)	サウンド オブ サイエンス ジョン・ネイピア ～対数誕生物語
45	平 19	金子 勝 (慶應義塾大学経済学部教授)	ニュースの嘘と教育
46	平 20	阿刀田 高 (作家) 阿刀田慶子 (朗読家)	アイデアの発見
47	平 21	福岡 伸一 (青山学院大学理工学部化学・生命科学科教授)	科学のおもしろさをどう伝えるか
48	平 22	見田 宗介 (東京大学名誉教授)	現代社会はどこに向かうか
49	平 23	内田 樹 (神戸女学院大学名誉教授)	転換期の教育 -グローバルイズムに抗して
50	平 24	川口淳一郎 (宇宙航空研究開発機構教授)	「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行、 その7年間の歩み
51	平 25	古賀 稔彦 (柔道家、古賀塾塾長、医学博士)	夢の実現 ～挑戦することの大切さ
52	平 26	大棟 耕介 (NPO 法人 日本ホスピタル・クラウン協会理事長 愛知教育大学非常勤講師)	心を開き、活気を生み出す『笑い』の力 ～ホスピタル・クラウンの現場から～
53	平 27	溝上 慎一 (京都大学高等教育研究推進センター教授 大学院教育学研究会(高等教育開発論講座)兼任)	社会に繋がる学習 -アクティブラーニングとトランジション-
54	平 28	中島 岳志 (東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)	自主規制はいかにして起きるのか
55	平 29	児美川孝一郎 (法政大学キャリアデザイン学部教授)	地域の未来をつくるキャリア教育の創造 - 新学習指導要領が示唆すること -
56	平 30	新井 紀子 (国立情報学研究所社会共有知研究センター センター長・教授 一般社団法人教育のための科学研究所代表理事・所長)	AI時代の教育～社会はどこへ向かうか
57	令 元	齊藤 誠一 (北海道大学北極域研究センター 研究推進支援教授)	これからの北極域研究 -気候変動とSDGsの視点から-

令和3年度 北海道高等学校教育研究会 役員・地区支部長・教科部会長・本部事務局

〔役員〕

会 長	林 恵子	(札幌旭丘)			
副 会 長	高橋 豪	(札幌琴似工業)			
	西岡 憲廣	(札幌山の手)			
	伊勢 一哉	(札幌南)			
	西川 浩司	(札幌平岸)			
監 事	横関 直幸	(札幌平岸)			
	濱下 昌也	(札幌東商業)			
顧 問	尾崎 信夫	染谷 昌志	綾井 健二	武田 泰明	
	田村 勸	島 隆	青塚 健一	金間 正克	
	宮浦 俊明	守屋 開	佐々木高至	石黒 清裕	

〔地区支部長〕

〔石狩〕	阿部 穰	(国際情報)
〔道南〕	古室 信行	(函館商業)
〔後志〕	西村 博幸	(真狩)
〔空知〕	鎌田 一宏	(岩見沢農業)
〔道北〕	美土路 建	(旭川西)
〔オホーツク〕	渡辺 淳一	(網走南ヶ丘)
〔釧根〕	橋本 功	(阿寒)
〔十勝〕	澤田 慎也	(幕別清陵)
〔日胆〕	相馬 利幸	(伊達開来)

〔教科部会長〕

〔国語〕	柴田 健一	(札幌南陵)
〔地歴・公民〕	渋川 誠人	(札幌北陵)
〔数学〕	尾崎 茂樹	(札幌藻岩)
〔理科〕	田邊 裕二	(札幌平岡)
〔保健体育〕	滝本 玲	(札幌東豊)
〔養護〕	渡邊祐美子	(石狩翔陽)
〔芸術〕	石若 拓哉	(平取)
〔英語〕	金山 泰幸	(千歳)
〔家庭〕	井上 明子	(札幌厚別)
〔農業〕	近江 勉	(倶知安農業)
〔工業〕	高橋 豪	(札幌琴似工業)
〔商業〕	堀野 智宏	(札幌啓北商業)
〔水産〕	木村 司	(小樽水産)
〔情報〕	佐藤 健	(檜山北)

〔事務局〕

事務局 長	杉本 式史	(札幌旭丘)		
事務局 次長	信田 篤	(札幌旭丘)	中辻 拓実	(札幌旭丘)
	松林 憲人	(札幌旭丘)	細田亜紀子	(札幌旭丘)

〔地区支部〕

地区支部	事務局校	事務担当者	〒	住所	Tel	Fax
石狩	国際情報	柴尾 尚文	001-0930	札幌市北区新川717番1	011-765-2021	011-765-2022
道南	函館商業	鎌本 光司	041-0812	函館市昭和1丁目17番1号	0138-41-4248	0138-41-4250
後志	真狩	安彦 勇二	048-1611	虻田郡真狩村字光6番地	0136-45-2357	0136-45-3514
空知	岩見沢農業	佐々木真一	068-0818	岩見沢市並木町1番地5	0126-22-0130	0126-22-5362
道北	旭川西	渡井 弘幸	070-0815	旭川市川端町5条9丁目1番8号	0166-52-1215	0166-52-2974
ホ-ツク	網走南ヶ丘	原田 壽之	093-0031	網走市台町2丁目13番1号	0152-43-2353	0152-43-4451
釧根	阿寒	佐藤 秀樹	085-0213	釧路市阿寒町仲町2丁目7番1号	0154-66-3333	0154-66-3303
十勝	幕別清陵	永谷 哲治	089-0571	中川郡幕別町依田101番地1	0155-55-6500	0155-55-6501
日胆	伊達開来	千葉 哲也	052-0011	伊達市竹原町44番地	0142-23-2525	0142-23-2526

※教頭が担当

[教科部会事務局]

教科部会	事務局校	事務担当者	〒	住所	Tel	Fax
国語	北広島西	榑 優美	061-1105	北広島市西の里東3丁目3-3	011-375-2771	011-375-2661
地歴・公民	札幌北陵	小原 茂	002-8057	札幌市北区屯田7条8丁目5-1	011-772-3051	011-772-3052
数学	札幌藻岩	加藤 勉	005-0803	札幌市南区川沿3条2丁目1-1	011-571-7811	011-571-7814
理科	長沼	今井 一実	069-1343	夕張郡長沼町旭町南2丁目11番1号	0123-88-2512	0123-88-2874
保健体育	札幌東豊	蓬田 泰生	007-0820	札幌市東区東雁来町376番地1	011-791-4171	011-791-9116
養護	札幌北	滝川 智子	001-0025	札幌市北区北25条西11丁目	011-736-3191	011-736-3193
芸術	札幌あすかぜ	村松 勇太	006-0860	札幌市手稲区手稲山口254番地	011-694-5033	011-694-5074
英語	千歳	中川 修司	066-8501	千歳市北栄1丁目4-1	0123-23-9145	0123-23-2742
家庭	札幌啓北商業	野村 良子	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15-1	011-591-2021	011-591-2023
農業	倶知安農業	菅原 光男	044-0083	虻田郡倶知安町旭15番地	0136-22-1148	0136-22-2252
工業	札幌琴似工業	野家 義和	063-0833	札幌市西区発寒13条11丁目3-1	011-661-3251	011-661-3252
商業	札幌啓北商業	野口 浩史	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15-1	011-591-2021	011-591-2023
水産	小樽水産	平沼 裕康	047-0001	小樽市若竹町9-1	0134-23-0670	0134-23-4553
情報	札幌稲雲	鶴間 伸一	006-0026	札幌市手稲区手稲本町6条4丁目1番1号	011-684-0034	011-684-0040

[部会長校] 国語(札幌南陵) 理科(札幌平岡) 養護(石狩翔陽) 芸術(平取) 家庭(札幌厚別) 情報(檜山北)

◎令和3年度 会員登録者数一覧

(令和3年7月8日 現在)

	国語	地歴 公民	数学	理科	保健 体育	養護	芸術	英語	家庭	農業	工業	商業	水産	情報	合計	前年 合計
石狩	94	98	96	97	92	17	39	122	32	6	16	51	1	24	785	855
道南	10	14	5	11	8	3	8	15	4	7	4	10	38	2	139	150
後志	5	8	7	4	1	1	2	9	2	18	3	2	29	3	94	111
空知	8	9	9	7	10	2	5	9	4	11	3	8	0	1	86	101
道北	14	28	18	24	15	6	4	17	4	27	9	14	1	3	184	202
オホーツク	14	21	8	15	8	2	0	16	5	6	3	8	0	1	107	119
釧根	12	24	16	15	11	0	4	13	3	7	4	15	12	3	139	151
十勝	14	4	8	5	9	1	5	8	0	15	4	3	0	2	78	86
日胆	15	17	14	17	11	4	4	24	5	5	7	11	0	3	137	154
合計	186	223	181	195	165	36	71	233	59	102	53	122	81	42	今年度 1,749	
前年合計	199	235	221	225	168	48	83	259	68	103	62	138	83	37	前年度 1,929	

◎会員数の推移

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
会員数	3,142	3,063	3,049	2,785	2,721	2,592	2,473	2,369	2,283	2,253	2,196	2,197	2,205	2,149	1,929	1,749

事務局から

平成25年1月9日、ニトリ文化ホール(旧厚生年金会館)で第50回記念大会が行われました。「はやぶさ」プロジェクトマネージャを務められた川口淳一郎氏の記念講演は、株式会社KDDIのご協力により、実験的にUSTREAMで配信されました。当時は、会場にたくさんの配信機材を導入して行いましたが、多くの高校から校務用PCではUSTREAMの閲覧が困難であったとの報告がありました。それでも、利尻高校では閲覧可能な校務用PCを用意して、中標津農業高校では個人所有PCをWi-Fiで使用して音声・画像とも問題なく視聴できたとの報告があったそうです。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みて、第58回研究大会はやむなく中止といたしました。今年度に入っても感染状況は改善しておりませんが、あれから10年ほどたった今では、ZoomやYouTube Liveなど配信はかなり身近なものになりました。スマホやタブレット、PCさえあれば誰でも動画配信したり、視聴したり、会議まで出来る世の中となりました。第59回大会は、新型コロナウイルスに負けない大会として、集合形式やリモート形式、またはハイブリッド形式いずれでも対応できるよう準備してまいります。

それでは、1月12日(水)にお会いしましょう。

発行 令和3年7月
北海道高等学校教育研究会本部事務局
〒064-8535
札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5番18号
市立札幌旭丘高等学校内
TEL 011-513-2238 FAX 011-513-2244
Eメールアドレス d-kokyoken@sapporo-c.ed.jp